

製品名: ZAP70 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85982**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:4000,ICC 1:25-1:50,FC 1:25-1:50
分子量	69.9kDa

抗原情報

遺伝子名	ZAP70
別名	Tyrosine-protein kinase ZAP-70, 70 kDa zeta-chain associated protein, Syk-related tyrosine kinase, ZAP70, SRK
遺伝子 ID	7535.0
SwissProt ID	P43403
免疫原	この ZAP70 抗体は、組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

背景

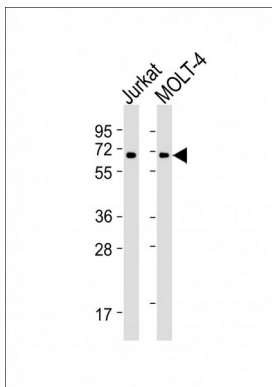
適応免疫応答の調節に重要な役割を果たすチロシンキナーゼ。成熟 T 細胞の運動性、接着性、サイトカイン発現、ならびに胸腺細胞

の発達を調節する。また、一次 B リンパ球の発達と活性化にも寄与する。抗原提示細胞 (APC) が T 細胞受容体 (TCR) を活性化すると、一連のリン酸化反応により、細胞膜上の ITAM モチーフを介して、二重リン酸化 TCR 構成要素 CD247/CD3Z に ZAP70 がリクルートされる。このリクルートは、刺激された TCR への局在化と、その自己阻害構造の解除に役立つ。ZAP70 の活性構造の解除は、LCK を介したリン酸化によってさらに安定化される。その後、ZAP70 は少なくとも 2 つの必須アダプタータンパク質、LAT と LCP2 をリン酸化します。その結果、多数のシグナル伝達分子がリクルートされ、最終的にリンホカイン産生、T 細胞の増殖および分化が促進されます。さらに、ZAP70 は T リンパ球の細胞骨格修飾、接着、および移動性を制御し、APC へのエフェクターの正確な送達を確保します。ZAP70 はまた、E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ CBL およびアダプタータンパク質 SLA および SLA2 との相互作用を介して、TCR-CD247/CD3Z の内在化および分解にも必要です。このように、ZAP70 は T 細胞表面における TCR 発現を調節することにより、T 細胞活性化のスイッチオンとスイッチオフの両方を制御します。胸腺細胞の発達過程において、ZAP70 は正の選択を受ける前 (細胞がまだ CD4/CD8 ダブルネガティブであるとき) に発達中の胸腺細胞の生存と細胞周期の進行を促進します。さらに、ZAP70 依存性シグナル伝達経路は、B 細胞受容体 (BCR) を介して一次 B 細胞の形成と活性化にも寄与している可能性があります。

研究分野

-

画像データ



全レーン：抗 ZAP70 抗体 (1:4000 希釈)